

# 平成20年度

## 登録販売者試験問題（午後）

◎ 指示があるまで開いてはいけません。

### 注 意 事 項

- 1 試験問題の数は60問で、試験時間は13時30分から15時30分までの120分です。
- 2 試験科目は、「主な医薬品とその作用」及び「医薬品の適正使用と安全対策」の2科目です。
- 3 受験番号の記入方法は、次のとおりです。

解答用紙の番号欄に左から受験番号の4桁を記入の上、当該番号をぬりつぶすこと。

記入例

| 番 号 |   |   |   |                |   |   |   |   |   |
|-----|---|---|---|----------------|---|---|---|---|---|
| 0   | 0 | 0 | 1 | 5桁目以降は記入しないこと。 |   |   |   |   |   |
| ●   | ● | ● | ○ | ○              | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| ①   | ① | ① | ● | ①              | ① | ① | ① | ① | ① |

- 4 解答方法は、次のとおりです。
  - (1) 各問題には、正しい答えは一つしかないので、最も適切と思った答えを一つ選び、次の例にならって解答用紙に記入すること。

(例) 問40 次の1～5に示される成分のうち、その成分が主として含まれることによって、医薬品の添付文書の「してはいけないこと」の欄に、コーヒーやお茶などと一緒に服用しないよう注意を求めるものはどれか。

1 ビタミンA油    2 ブロムワレリル尿素    3 アスピリン  
4 無水カフェイン    5 ニコチン

正しい答えは「4」であるから解答用紙の  
問40    ① ② ③ ④ ⑤    のうち④をぬりつぶして  
問40    ① ② ③ ● ⑤    とすること。
  - (2) 正答は○の中全体をHBより濃い鉛筆で濃くぬりつぶすこと。

悪い解答の例    ⊖ ⊕ ⊗ ⊘ ⊙ ⊖ ⊕
  - (3) 答えを修正した場合は、必ず「消しゴム」であとが残らないように完全に消すこと。鉛筆のあとが残ったり「✖」のような消し方などをした場合は、修正又は解答したことにはならないから注意すること。
  - (4) 61番以降の解答欄には記入しないこと。
  - (5) 解答用紙は、折り曲げたり、よごしたりしないこと。
- 5 退場するときは、解答用紙を伏せること。



## 主な医薬品とその作用

問1 次の記述は、かぜの特徴に関するものである。誤っているものを1つ選びなさい。

- 1 かぜ薬とは、かぜの諸症状の緩和を目的として使用される医薬品の総称であり、総合感冒薬とも呼ばれる。
- 2 かぜの症状は生体にもともと備わっている免疫機能によってウイルスが排除されれば自然に治る。
- 3 かぜの原因は主にウイルスが鼻や喉に感染することであるが、その他細菌の感染や、まれに冷氣や乾燥、アレルギーのような非感染性の要因による場合もある。
- 4 インフルエンザ（流行性感冒）は、かぜと異なり細菌の呼吸器感染によるものであるが、感染力が強く、また、重症化しやすい。

問2 次の記述は、かぜ薬に配合される成分に関するものである。正しい正誤の組み合わせを1つ選びなさい。

- a サリチルアミドは解熱鎮痛成分として配合されている。
- b マレイン酸クロルフェニラミンは痰の切れを良くする成分として配合されている。
- c ノスカピンは抗ヒスタミン成分及び抗炎症成分として配合されている。
- d リン酸コデインは依存性があるが、咳を抑える成分として配合されている。

|   | a | b | c | d |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 正 | 誤 | 正 | 誤 |
| 2 | 誤 | 正 | 正 | 誤 |
| 3 | 正 | 誤 | 誤 | 正 |
| 4 | 誤 | 誤 | 正 | 正 |

問3 次の記述は、かぜ薬に配合される成分とその作用に関するものである。正しい正誤の組み合わせを1つ選びなさい。

- a 塩化リゾチームは鼻粘膜や喉の炎症を生じた組織の修復に寄与するほか、痰の粘りけを弱め、また、気道粘膜の線毛運動を促進させて痰の排出を容易にする作用がある。
- b トラネキサム酸は体内の炎症物質の産生を抑えることで炎症の発生を抑え、腫れを和らげる作用がある。
- c ブロメラインは蛋白質分解酵素で体内の抗炎症物質を産生する作用がある。
- d グリチルリチン酸二カリウムは中枢のプロスタグランジンの産生を抑える作用がある。

|   | a | b | c | d |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 正 | 正 | 誤 | 誤 |
| 2 | 誤 | 誤 | 正 | 正 |
| 3 | 正 | 誤 | 誤 | 正 |
| 4 | 誤 | 正 | 正 | 誤 |

問4 次の記述は、かぜ薬に配合される漢方とその適用に関するものである。正しい正誤の組み合わせを1つ選びなさい。

- a 麻黄湯 —— かぜのひき始めから数日たって症状が少し長引いている状態で、疲労感があり、食欲不振、吐き気がする場合に適する。
- b 葛根湯 —— かぜのひき始めにおける諸症状、頭痛、肩こり、筋肉痛、手足や肩の痛みに適する。
- c 小柴胡湯 —— かぜのひき始めで、寒気がして発熱、頭痛があり、体のふしぶしが痛い場合に適する。
- d 小青竜湯 —— くしゃみや鼻汁・鼻閉（鼻づまり）等の鼻炎症状、薄い水様の痰を伴う咳、気管支炎、気管支喘息等の呼吸器症状に適する。

|   | a | b | c | d |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 誤 | 正 | 誤 | 正 |
| 2 | 正 | 誤 | 正 | 誤 |
| 3 | 正 | 誤 | 誤 | 正 |
| 4 | 誤 | 正 | 正 | 誤 |

問5 次の記述は、かぜ薬の解熱鎮痛成分とその副作用に関するものである。正しい正誤の組み合わせを1つ選びなさい。

- a アスピリン —— 腎障害、無菌性髄膜炎
- b アセトアミノフェン —— 肝機能障害
- c イソプロピルアンチピリン —— 薬疹（ピリン疹）等のアレルギー症状
- d イブプロフェン —— 腸障害、喘息

|   | a | b | c | d |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 誤 | 正 | 誤 | 正 |
| 2 | 誤 | 正 | 正 | 誤 |
| 3 | 正 | 誤 | 誤 | 正 |
| 4 | 正 | 正 | 誤 | 誤 |

問6 次の記述は、かぜ薬の解熱鎮痛成分の作用等に関するものである。正しい正誤の組み合わせを1つ選びなさい。

- a アスピリンは、エテンザミドと同様にサリチル酸系解熱鎮痛成分で、ライ症候群との発生の関連性が示唆されている。アスピリンは、一般用医薬品では、小児（15歳未満）に対してはいかなる場合も使用しない。
- b アセトアミノフェンは、頭痛、咽頭痛、月経痛生理痛、腰痛に使用されるが、一般用医薬品では小児向けの製品はない。
- c イソプロピルアンチピリンは、解熱や鎮痛の作用が比較的強いが、抗炎症作用は弱く、他の解熱鎮痛成分と組み合わせて配合される。
- d イブプロフェンは、主として中枢性の作用によって解熱・鎮痛をもたらすと考えられており、抗炎症作用は期待できない。

|   | a | b | c | d |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 誤 | 正 | 誤 | 正 |
| 2 | 誤 | 正 | 正 | 誤 |
| 3 | 正 | 誤 | 正 | 誤 |
| 4 | 正 | 正 | 誤 | 誤 |

問7 次の記述は、かぜ薬の解熱鎮痛成分のうち、生薬成分に関するものである。正しい正誤の組み合わせを1つ選びなさい。

- a ジリュウは、ツリミミズ科のカッシュクツリミミズ又はその近縁種を用いた動物性生薬で、「熱さまし」として用いられる。
- b シャクヤクは、ボタン科のシャクヤク又はその近縁植物の根を用いた生薬で、鎮痛鎮痙作用、鎮静作用を示し、内臓の痛みにも用いられる。
- c ボウイは、ツツラフジ科のオオツツラフジの蔓性の茎及び根茎を用いた生薬で、鎮静、発汗等の作用を期待して用いられる。
- d ショウキョウは、利尿を促して炎症を和らげる作用がある。

|   | a | b | c | d |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 誤 | 正 | 誤 | 正 |
| 2 | 誤 | 正 | 正 | 誤 |
| 3 | 正 | 誤 | 正 | 誤 |
| 4 | 正 | 正 | 誤 | 誤 |

問8 鎮痛薬の漢方処方製剤の1つである釣藤散に関する記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 中年以降の人又は血圧が高めの人における慢性の頭痛に適すとされるが、胃腸虚弱で冷え性の人では、消化器系の副作用（食欲不振、胃部不快感等）が現れやすい等、不向きとされている。
- 2 関節痛、神経痛、腰痛、筋肉痛に適すとされるが、胃腸が弱く下痢しやすい人では、消化器系の副作用（食欲不振、胃部不快感等）が現れやすい等、不向きとされている。
- 3 みぞおちが膨満して手足が冷えやすい人における、頭痛及び頭痛に伴う吐き気、しゃっくりに適すとされる。
- 4 関節痛、神経痛に適すとされているが、のぼせが強く赤ら顔で体力が充実している人では、動悸、のぼせ、ほてり等の副作用が現れやすい等、不向きとされる。

問9 次の医薬品の成分のうち、鎮咳成分として総合感冒薬などに配合されるものを1つ選びなさい。

- 1 ヒベンズ酸チペピジン
- 2 メキタジン
- 3 ブロムワレリル尿素
- 4 酸化マグネシウム

問10 次の医薬品の成分のうち、去痰成分として総合感冒薬などに配合されるものを1つ選びなさい。

- 1 塩酸ブロムヘキシン
- 2 リン酸ジヒドロコデイン
- 3 ヨウ化イソプロパミド
- 4 カッコン

問11 次の記述の（ ）内に入れる語句として、正しいものを1つ選びなさい。なお、（ ）の中には同じ語句が入るものとする。

総合感冒薬の成分として用いられる（ ）は、鶏卵の卵白から抽出した蛋白質であるため、鶏卵アレルギーのある人では、（ ）を含有する医薬品によるアレルギーの既往がある人と同様、使用を避ける必要がある。

- 1 塩化リゾチーム
- 2 ブロメライン
- 3 カフェイン
- 4 アセトアミノフェン

問12 次の解熱鎮痛薬の購入を希望する人のうち、医師などの診察を受けるよう受診勧奨をすることが望ましい最も適切な組み合わせを1つ選びなさい。

- a 1週間ほど前から、激しい腹痛や下痢などの消化器症状を伴って、発熱が続いている。
- b 昨夜、寝る前に悪寒がして、今朝、熱を測ったら38℃あり、風邪気味である。
- c 2日間、総合感冒薬を服用し症状が軽くなったが、少し鼻づまりが残っている。
- d 頭痛が次第に増して、耐え難いような激しい突然の頭痛と手足のしびれが現れた。

1 (a, b) 2 (b, c) 3 (a, d) 4 (c, d)

問13 次の抗ヒスタミン成分に関する記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 塩酸ジフェンヒドラミンは、中枢に対する作用が弱いので、全く眠気を生じることはない。
- 2 妊娠中に生じる睡眠障害には抗ヒスタミンを主成分とする催眠鎮静薬を睡眠改善薬として服用するように勧める。
- 3 抗ヒスタミン成分を含有する内服薬は服用後、乗物、機械類の運転操作を避ける必要はない。
- 4 抗ヒスタミン成分を含有する内服薬を服用すると神経過敏や興奮などの副作用が現れることがあり、小児はそうした副作用が起きやすく、15歳未満の小児では使用を避ける必要がある。

問14 次のカフェインに関する記述のうち、誤っているものを1つ選びなさい。

- 1 脳に軽い興奮状態を引き起こす作用を示し、眠気や倦怠感を一時的に抑える効果がある。
- 2 腎臓で水分の再吸収を抑制し、膀胱括約筋を弛緩させる働きがあり、尿量を増加させる。
- 3 眠気防止薬としてのカフェインの1回摂取量はカフェインとして500mg、1日摂取量では1000mgが上限とされている。
- 4 妊娠している母親から胎児に到達し、乳汁中にも移行するため、カフェインの総摂取量に留意する必要がある。

問15 次の記述は、乗り物酔い防止薬に関するものである。正しい正誤の組み合わせを1つ選びなさい。

- a 乗り物酔い防止薬と胃腸鎮痛鎮痙薬を併用すると、重複する成分がある。
- b 抗ヒスタミン成分であるプロメタジンは、外国において、乳児突然死症候群等の報告があるため、15歳未満の小児では使用を避ける必要がある。
- c 抗めまい成分である塩酸ジフェニドールは排尿困難のある人や緑内障の患者にも使用が可能であり、第一選択薬に使用されている。
- d 高齢者のめまいは平衡機能の衰えにより起こることが多いので、抗めまい薬を勧めて、医療機関の受診を勧める必要はない。

|   | a | b | c | d |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 誤 | 正 | 誤 | 正 |
| 2 | 誤 | 正 | 正 | 誤 |
| 3 | 正 | 誤 | 正 | 誤 |
| 4 | 正 | 正 | 誤 | 誤 |

問16 次の記述は、鎮咳去痰薬に関するものである。正しい正誤の組み合わせを1つ選びなさい。

- a 中枢神経系に作用して咳を抑える成分のうち、延髄の咳嗽中枢に作用するものとして、非麻薬性鎮咳成分のリン酸コデインがある。
- b 気管支を拡げる成分の塩酸メトキシフェナミン等のアドレナリン作動成分は、交感神経を刺激して気管支を拡張させる。
- c 生薬成分のマオウは気管支拡張作用のほか、発汗促進、尿量増加（利尿）等の作用もある。
- d 痰の切れを良くする成分としては、痰の粘性蛋白質に作用してその粘りけを減少させるグアイフェネシンがある。

|   | a | b | c | d |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 誤 | 正 | 誤 | 正 |
| 2 | 誤 | 正 | 正 | 誤 |
| 3 | 正 | 誤 | 正 | 誤 |
| 4 | 正 | 正 | 誤 | 誤 |

問17 次の鎮咳去痰薬に配合されている薬効成分と、その作用の組み合わせのうち、正しい組み合わせを1つ選びなさい。

- 1 ハンゲ \_\_\_\_\_ 抗ヒスタミン成分
- 2 トラネキサム酸 \_\_\_\_\_ 去痰成分
- 3 塩酸エチルシステイン \_\_\_\_\_ 抗炎症成分
- 4 塩化セチルピリジニウム \_\_\_\_\_ 殺菌消毒成分

問18 次の鎮咳去痰薬に含まれる生薬成分と、その作用の組み合わせのうち、正しい正誤の組み合わせを1つ選びなさい。

- a セネガ \_\_\_\_\_ ヒメハギ科のセネガ又はその同属植物の根を用いた生薬で、鎮咳作用がある。
- b キキョウ \_\_\_\_\_ キキョウ科のキキョウの根を用いた生薬で、痰又は痰を伴う咳に用いる。
- c キョウニン \_\_\_\_\_ バラ科のアンズの種子を用いた生薬で、体内で分解されて生じた代謝物の一部が延髄の呼吸中枢、咳嗽中枢を鎮静させる。
- d シャゼンソウ \_\_\_\_\_ オオバコ科のオオバコの花期の全草を用いた生薬で、滋養強壯作用がある。

- |   | a | b | c | d |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 正 | 正 | 誤 | 誤 |
| 2 | 誤 | 正 | 正 | 誤 |
| 3 | 正 | 誤 | 正 | 誤 |
| 4 | 誤 | 正 | 誤 | 正 |

問19 咳止めや痰を出しやすくする目的で用いられる漢方処方製剤のうち、次の記述の症状に適するものを1つ選びなさい。

気分がふさいで、咽喉・食道部につかえ感があり、ときに動悸、めまい、嘔気などを伴う人における、咳、しわがれ声、不安神経症、神経性胃炎に適す。

- 1 半夏厚朴湯
- 2 柴朴湯
- 3 麦門冬湯
- 4 五虎湯

問20 次の胃腸及び胃腸に作用する薬に関する記述のうち、正しい正誤の組み合わせを1つ選びなさい。

- a 吐き気や嘔吐は、延髄にある嘔吐中枢の働きによって起こる。
- b 制酸薬は、炭水化物、脂質、蛋白質等の分解に働く酵素を補う等により、胃や腸の内容物の消化を助けることを目的とする医薬品である。
- c 健胃薬、消化薬、整腸薬又はそれらの目的を併せ持つものには、特定保健用食品として製造販売されている製品もある。
- d 健胃薬は、弱った胃の働きを高めることを目的とする医薬品である。

|   | a | b | c | d |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 正 | 正 | 誤 | 誤 |
| 2 | 正 | 誤 | 誤 | 正 |
| 3 | 誤 | 正 | 誤 | 正 |
| 4 | 誤 | 正 | 正 | 誤 |

問21 次の胃腸に作用する医薬品に含まれる成分とその作用の組み合わせのうち、正しい組み合わせを1つ選びなさい。

- 1 乾燥水酸化アルミニウムゲル \_\_\_\_\_ 胃粘膜保護・修復成分
- 2 アルジオキサ \_\_\_\_\_ 抗炎症成分
- 3 センブリ \_\_\_\_\_ 健胃成分
- 4 ロートエキス \_\_\_\_\_ 制酸成分

問22 次の記述は、胃腸に作用する薬に関するものである。( )内に入れる語句として、正しい組み合わせを1つ選びなさい。

制酸成分を主体とする胃腸薬については、酸性の食品である(ア)等との服用は適当でない。

胃粘膜保護・修復成分である(イ)はアルミニウムを含む成分であるため、透析治療を受けている人では使用を避ける必要がある。(ウ)については、まれに重篤な副作用として肝機能障害を生じることがある。肝臓病の診断を受けた人では、使用する前にその適否について治療を行っている医師又は調剤を行った薬剤師に相談がなされることが望ましい。

|   | ア        | イ        | ウ         |
|---|----------|----------|-----------|
| 1 | 緑茶       | 水溶性アズレン  | 塩酸テトラキサート |
| 2 | 炭酸飲料     | スクラルファート | ソファルコン    |
| 3 | オレンジジュース | ジアスターゼ   | テプレノン     |
| 4 | スポーツドリンク | ジメチコン    | ロートエキス    |

問23 次の止瀉成分とその作用の組み合わせのうち、誤っているものを1つ選びなさい。

- |   |           |       |                      |
|---|-----------|-------|----------------------|
| 1 | 次没食子酸ビスマス | _____ | 収斂作用により腸粘膜を保護し、抗炎症作用 |
| 2 | 塩酸ロペラミド   | _____ | 局所麻酔作用               |
| 3 | 塩化ベルベリン   | _____ | 抗菌作用                 |
| 4 | 炭酸カルシウム   | _____ | 有害物質の吸着作用            |

問24 次の腸に作用する薬に関する記述のうち、正しい正誤の組み合わせを1つ選びなさい。

- a タンニン酸アルブミンは、牛乳に含まれるカゼインに由来するため、牛乳アレルギーの人には使用しない。
- b 塩酸ロペラミドは、医療用医薬品から一般用医薬品にスイッチされた成分で医療用として小児に使用されているので、一般用も小児に使用できる。
- c クレオソートは、細菌感染による下痢の症状を鎮めることを目的として使用される。
- d マレイン酸トリメブチンは、中枢神経を刺激することにより腸の運動を鎮める。

- |   | a | b | c | d |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 正 | 誤 | 誤 | 正 |
| 2 | 正 | 誤 | 正 | 誤 |
| 3 | 誤 | 正 | 誤 | 正 |
| 4 | 誤 | 正 | 正 | 誤 |

問25 次の瀉下薬に関する記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 防虫剤や殺鼠剤を誤って飲み込んだ場合のような脂溶性物質による中毒にはヒマシ油を使用する。
- 2 刺激性瀉下成分であるセンノシドは一般に腸の急激な動きに刺激されて流産・早産を誘発するおそれがあるので、妊娠しているとおもわれる女性では使用を避けることが望ましい。
- 3 マルツエキスは主成分の麦芽糖が分解して生じるガスによって便通を促すが、作用が急激なため乳幼児には使用しない。
- 4 酸化マグネシウムは肝臓病の患者には高マグネシウム血症を引き起こすため、使用してはいけない。

問26 腸の不調を改善する目的で用いられる漢方処方製剤のうち、次の記述の症状に適するものを1つ選びなさい。

腹部に膨満感のある人における、しぶり腹、腹痛に適すとされる。短期間の使用に限るものではないが、1週間位服用して症状の改善がみられない場合には、いったん使用を中止して専門家に相談することが望ましい。

- 1 桂枝加芍薬湯
- 2 大黃甘草湯
- 3 大黃牡丹皮湯
- 4 麻子仁丸

問27 次の腸の薬の購入を希望する人のうち、医師などの診察を受けるよう受診勧奨をすることが望ましい最も適切な組み合わせを1つ選びなさい。

- a 激しい腹痛や下痢などの消化器症状を伴って、発熱が続いている。
- b 下痢が続き、便に血液が混じっている。
- c 医薬品を使用している際に原因が明確でない便秘がある。
- d 夏場に暑いため水分を大量に摂取したので、下痢をしている。

- 1 (a, b, c)
- 2 (b, c, d)
- 3 (a, c, d)
- 4 (a, b, d)

問28 次の胃腸鎮痛鎮痙薬に関する記述のうち、正しい正誤の組み合わせを1つ選びなさい。

- a 胃腸鎮痛鎮痙薬に配合されている成分は胃腸以外にも作用を示すものがほとんどであり、複数の胃腸鎮痛鎮痙薬が併用された場合、泌尿器系や循環器系、精神神経系などに対する副作用が現れやすくなる。
- b 臭化メチルペナクチジウム等の抗コリン成分を含む胃腸鎮痛鎮痙薬は、副交感神経系の働きを抑える作用は消化管に限定されないため、散瞳による目のかすみや異常な眩しさ、顔のほてり、頭痛、眠気、口渇、便秘、排尿困難等の副作用が現れることがある。
- c 局所麻酔成分のアミノ安息香酸エチルは安全性が高く、6歳未満の小児にも使用できる。
- d 塩酸パパペリンは消化管の平滑筋に直接働いて胃腸の痙攣を鎮める作用があるので抗コリン成分と異なり、眼圧を上昇させる作用はない。

- |   | a | b | c | d |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 正 | 誤 | 誤 | 正 |
| 2 | 正 | 正 | 誤 | 誤 |
| 3 | 誤 | 正 | 誤 | 正 |
| 4 | 誤 | 正 | 正 | 誤 |

問29 次の浣腸薬に関する記述のうち、正しい正誤の組み合わせを1つ選びなさい。

- a 浣腸薬は、便秘の場合に排便を促すことを目的として、直腸内に適用され、剤型には注入剤のほか、坐剤がある。
- b 浣腸薬は、繰り返し使用すると直腸の感受性の低下が生じて効果が弱くなるが、便秘以外のときに直腸内容物の排除を目的として使用することは差し支えない。
- c グリセリンが配合された浣腸薬は排便時に血圧低下を生じて立ちくらみの症状が現れるとの報告があり、高齢者や心臓に基礎疾患がある人で特に症状が現れやすいため使用する前に医師等に相談することが望ましい。
- d 炭酸水素ナトリウムの浣腸薬は直腸内で内容物を溶解して排便を促す作用がある。

- |   | a | b | c | d |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 正 | 誤 | 誤 | 正 |
| 2 | 正 | 誤 | 正 | 誤 |
| 3 | 誤 | 正 | 誤 | 正 |
| 4 | 誤 | 正 | 正 | 誤 |

問30 次の強心作用を有する成分の説明のうち、誤っているものを1つ選びなさい。

- 1 センソは、ヒキガエル科のシナヒキガエル又はヘリグロヒギガエルの毒腺の分泌物を集めたもので、微量で強い強心作用を示す。
- 2 ゴオウは、ウシの胆嚢中に生じた結石を用いた生薬で、強心作用のほか、末梢血管の拡張による血圧降下、興奮を静める等の作用がある。
- 3 ロクジョウは、シカ科のシベリアジカ、マンシュウアカジカ等の雌の角を用いた生薬で、強心作用のほか、強壯、血行促進等の作用があるとされる。
- 4 ジャコウは、シカ科のジャコウジカ又はその近縁動物の雄のジャコウ腺分泌物を乾燥したもので、強心作用のほか、呼吸中枢を刺激して呼吸機能を高めたり、意識をはっきりさせる等の作用があるとされる。

問31 次のコレステロールに関する記述のうち、正しい正誤の組み合わせを1つ選びなさい。

- a 高脂血症（脂質異常症）とは、血中の低密度リポ蛋白質（LDL）140 mg/dL以上、高密度リポ蛋白質（HDL）40 mg/dL以下、中性脂肪150 mg/dL以上のいずれかである。
- b リポ蛋白質は比重が違う複数のタイプがあり、LDLは一般に善玉コレステロール、HDLは悪玉コレステロールと呼ばれる。
- c コレステロールの産生及び代謝は主として胆嚢で行われる。
- d 血漿中のリポ蛋白質のバランスの乱れは自覚症状を伴うものでないため、健康診断などで発見されることが多い。

- |   | a | b | c | d |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 正 | 誤 | 誤 | 正 |
| 2 | 正 | 誤 | 正 | 誤 |
| 3 | 誤 | 正 | 誤 | 正 |
| 4 | 誤 | 正 | 正 | 誤 |

問32 女性の月経や更年期障害に伴う諸症状の緩和を目的として用いられる漢方処方製剤のうち、次の記述の症状に適するものを1つ選びなさい。

虚弱体質で肩がこり、疲れやすく、精神不安等の精神神経症状、ときに便秘の傾向のある女性における冷え性、虚弱体質、月経不順、月経困難、更年期障害、血の道症に適すとされるが、胃腸の弱い人では悪心（吐き気）、嘔吐、胃部不快感、下痢等の副作用が現れやすい等、不向きとされる。まれに重篤な副作用として、肝機能障害を生じることが知られている。

- 1 桂枝茯苓丸
- 2 温経湯
- 3 温清飲
- 4 加味逍遙散

問33 次のアレルギー及びアレルギーに用いる医薬品に関する記述のうち、正しい正誤の組み合わせを1つ選びなさい。

- a アレルギーを起こすアレルゲンは人によって異なり、複数の物質がアレルゲンになることもある。
- b アレルゲンが皮膚や粘膜から体内に入り込むと、これを特異的に認識した免疫グロブリンによって肥満細胞が刺激され、生理活性物質であるヒスタミン等が遊離する。
- c 蕁麻疹は食品（特にサバなどの生魚）中にアレルゲンが含まれていた場合にのみ発症する。
- d 抗ヒスタミン成分は肥満細胞からヒスタミンが遊離しようとするのを抑制する作用がある。

- |   | a | b | c | d |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 正 | 正 | 誤 | 誤 |
| 2 | 正 | 誤 | 正 | 誤 |
| 3 | 誤 | 正 | 誤 | 正 |
| 4 | 誤 | 誤 | 正 | 正 |

問34 次のアレルギー用薬に配合されている主な成分とその作用等の組み合わせのうち、誤っているものを1つ選びなさい。

1. メキタジン \_\_\_\_\_ 抗ヒスタミン作用
2. ベラドンナ総アルカロイド \_\_\_\_\_ 抗コリン作用
3. 塩酸メチルエフェドリン \_\_\_\_\_ 鎮静作用
4. グリチルリチン酸二カリウム \_\_\_\_\_ 抗炎症作用

問35 次の鼻に用いる医薬品に関する記述のうち、最も正しいものを1つ選びなさい。

1. 塩酸ナファゾリンが配合された点鼻薬は、過度に使用されると鼻粘膜の血管が反応しなくなり、逆に血管が拡張して二次充血を招き、鼻づまり（鼻閉）がひどくなることがある。
2. クロモグリク酸ナトリウムは、ヒスタミンの遊離を抑える作用を示し、花粉、ハウスダスト（室内塵）等による鼻アレルギー症状の緩和を目的として用いられるが、抗ヒスタミン薬と併用されると相乗効果のため急激な眠気等の副作用が現れるので併用されない。
3. リドカイン、塩化ベンザルコニウムの局所麻酔成分は、鼻粘膜の過敏性や痛みや痒みを抑えることを目的として配合される。
4. マレイン酸クロルフェニラミンは、鼻腔内に付着したウイルスや細菌が原因となって生じる鼻粘膜の炎症（急性鼻炎）には効果がない。

問36 次の点眼薬等及び目の症状に関する記述のうち、正しい正誤の組み合わせを1つ選びなさい。

- a. 点眼薬の副作用として、皮膚に発疹、発赤、痒み等の全身症状は現れることはない。
- b. 一般用医薬品の点眼薬には緑内障の症状を改善できるものはなく、目のかすみは緑内障の症状であった場合には、効果が期待できない。
- c. 目の症状には、視力の異常、目（眼球、眼瞼等）の外観の変化、目の感覚の変化等があり、これらの症状が現れた場合には目そのものが原因であることも多いが、目以外の病気の可能性もあり、特に脳が原因であることが多く知られている。
- d. 目を酷使すると、アセチルコリンを分解する酵素（コリンエステラーゼ）の働きが抑制され、目の調整機能が低下し、目の疲れやかすみといった症状を生じる。

- |   | a | b | c | d |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 正 | 誤 | 誤 | 正 |
| 2 | 正 | 誤 | 正 | 誤 |
| 3 | 誤 | 正 | 誤 | 正 |
| 4 | 誤 | 正 | 正 | 誤 |

問37 次の殺菌消毒成分の記述のうち、誤っているものを1つ選びなさい。

- 1 オキシドールは、一般細菌類の一部（連鎖球菌、黄色ブドウ球菌などの化膿菌）に対する殺菌消毒作用があるが、真菌、結核菌、ウイルスに対しては効果がない。刺激性があるため目の周りへの使用は避ける必要がある。
- 2 ポビドンヨードは、ヨウ素による酸化作用により、結核菌を含む一般細菌類、真菌類、ウイルスに対して殺菌消毒作用を示す。
- 3 アクリノールは黄色の色素で、一般細菌類の一部（連鎖球菌、黄色ブドウ球菌などの化膿菌）及び真菌、結核菌、ウイルスに対して殺菌消毒作用を示す。
- 4 塩化ベンザルコニウムは陽性界面活性成分で、黄色ブドウ球菌、溶血性連鎖球菌又はカンジダ等の真菌類に対する殺菌消毒作用を示す。結核菌やウイルスには効果がない。

問38 次の痒み、腫れ、痛み等を抑える外用薬に関する記述のうち、正しい正誤の組み合わせを1つ選びなさい。

- a デキサメタゾン、吉草酸酢酸プレドニゾロン等のステロイド性抗炎症成分は、患部局所におけるプロスタグランジンなどの炎症を起こす物質の産生を抑える作用を示し、特に痒みや発赤などの皮膚症状を抑えるが、副作用として、末梢組織の免疫機能を低下させる作用がある。
- b 非ステロイド性抗炎症成分のインドメタシン、ケトプロフェンは、プロスタグランジンなどの産生を抑える作用を示し、筋肉痛、関節痛、肩こりに伴う肩の痛み、腰痛等に用いられる。内服で用いられる解熱鎮痛成分と異なり、喘息の副作用を引き起こす可能性はない。
- c サリチル酸メチルは、皮膚から吸収された後、サリチル酸に分解されて、主として局所刺激により患部の血行を促し、末梢の知覚神経を興奮させることにより鎮痛作用をもたらす。
- d 塩酸ジブカイン等の局所麻酔成分は、切り傷、擦り傷、掻き傷等の創傷面の痛みや湿疹、皮膚炎、かぶれ、あせも、虫さされ等による皮膚の痒みを和らげる。

- |   | a | b | c | d |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 正 | 誤 | 誤 | 正 |
| 2 | 正 | 誤 | 正 | 誤 |
| 3 | 誤 | 正 | 誤 | 正 |
| 4 | 誤 | 正 | 正 | 誤 |

問39 次の抗真菌成分に関する記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 硝酸オキシコナゾールは、イミダゾール系の抗真菌薬と呼ばれ、皮膚糸状菌の細胞膜を構成する成分の産生を妨げたり、細胞膜の透過性を変化させることにより、その増殖を抑える。
- 2 シクロピロクスオラミンは、菌の呼吸や代謝を妨げることにより、皮膚糸状菌の増殖を抑える。
- 3 ウンデシレン酸は、患部をアルカリ性にすることで皮膚糸状菌の発育を抑える。
- 4 ピロールニトリンは、皮膚糸状菌の細胞膜に作用して、その増殖・生存に必要な物質の輸送機能を妨げ、その増殖を抑える。

問40 次の公衆衛生用薬の消毒薬に関する記述のうち、正しい正誤の組み合わせを1つ選びなさい。

- a クレゾール石鹼液は、結核菌を含む一般細菌類、真菌類に対して比較的広い殺菌消毒作用を示すが、ウイルスに対する殺菌消毒作用はない。
- b 次亜塩素酸ナトリウムやサラシ粉などの塩素系殺菌消毒成分は、強い酸化力によって一般細菌類、真菌類、ウイルス全般に対する殺菌消毒作用を示すが、皮膚刺激性が強いため、人体の消毒には用いられない。
- c エタノールはアルコール分が微生物の蛋白質を変性させ、一般細菌類、真菌類、ウイルスに対する殺菌消毒作用を示す。また、イソプロパノールでは、ウイルスに対する不活性効果はエタノールよりも高い。
- d グルコン酸クロルヘキシジンは、ウイルスに対して殺菌消毒作用を示すが、一般細菌類、真菌類に対する殺菌消毒作用はない。

|   | a | b | c | d |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 正 | 正 | 誤 | 誤 |
| 2 | 正 | 誤 | 正 | 誤 |
| 3 | 誤 | 正 | 誤 | 正 |
| 4 | 誤 | 正 | 正 | 誤 |

## 医薬品の適正使用と安全対策

問41 医薬品の適正使用情報に関する次の記述のうち、最も適切な正誤の組み合わせを1つ選びなさい。

- a 医薬品は、効能・効果、用法・用量、副作用等の必要な情報（適正使用情報）を購入者へ提供することによって、初めて医薬品としての機能を発揮する。
- b 一般用医薬品は、一般の購入者が自己の判断ではなく、登録販売者等から提供される情報をもとに使用するものであるため、添付文書等に記載されている適正使用情報は、重要である。
- c 適正使用情報の記載は、登録販売者等が理解しやすいように平易な言葉で表現されている。
- d 登録販売者等は、購入者等への情報提供及び相談対応を行う際に、添付文書等に記載されている内容を的確に理解する必要がある。
- e 登録販売者等は、積極的な情報提供が必要と思われる事項に焦点を絞り、効果的かつ効率的な説明をすることが重要である。

|   | a | b | c | d | e |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 正 | 誤 | 誤 | 正 | 正 |
| 2 | 誤 | 正 | 正 | 正 | 正 |
| 3 | 誤 | 正 | 正 | 正 | 誤 |
| 4 | 正 | 誤 | 誤 | 誤 | 誤 |
| 5 | 正 | 正 | 正 | 誤 | 正 |

問42 一般用医薬品の添付文書の構成はいくつかの項目から成り立っているが、そのうち3つの組み合わせとして、最も適切なものを1つ選びなさい。

|   |        |            |               |
|---|--------|------------|---------------|
| 1 | 効能又は効果 | 用法及び用量     | 製造販売業者の名称及び住所 |
| 2 | 使用上の注意 | 販売名及び薬効名   | 登録販売者の名前及び住所  |
| 3 | リスク区分  | 使用期限       | 製造販売業者の名称及び住所 |
| 4 | 重篤な副作用 | 製造番号又は製造記号 | 登録販売者の名前及び住所  |
| 5 | 成分及び分量 | 改訂年月日      | 登録販売者の名前及び住所  |

問43 添付文書の「してはいけないこと」と「主な成分・薬効群」の組み合わせについて、次の記述のうち、誤っているものを1つ選びなさい。

|   | 「してはいけないこと」                           | 主な成分・薬効群                     |
|---|---------------------------------------|------------------------------|
| 1 | 「服用後、乗物または機械類の運転操作をしないこと」             | 塩酸ピレンゼピン                     |
| 2 | 「長期連用しないこと」                           | スクラルファート                     |
| 3 | 「服用時は飲酒しないこと」                         | 抗ヒスタミン成分を主薬とする催眠鎮静薬          |
| 4 | 「授乳中の人には本剤を使用しないか、本剤を服用する場合は授乳を避けること」 | ジフェンヒドラミンを含む成分が配合された内服薬、点鼻薬等 |
| 5 | 「大量に使用（服用）しないこと」                      | 次没食子酸ビスマス、次硝酸ビスマス等のビスマスを含む成分 |

問44 一般用医薬品の添付文書の記載事項で、最も正しい正誤の組み合わせを1つ選びなさい。

- a 添付文書の記載方法については、医薬品の有効性・安全性に関する新たな知見等の情報に基づき、必要に応じて随時改訂がなされる。
- b 添付文書は、開封時に一度目を通せば十分というものではないため、「使用にあたって、この説明文書を必ず読むこと。また、必要な時に読めるよう大切に保存すること。」等の文言が記載されている。
- c 使用上の注意として「相談すること」に書いてある内容は、その医薬品を使用する前に、その可否について専門家に相談した方が望ましい場合のみである。
- d 重要な内容が変更された場合、改訂年月日について記載されるが、改訂された箇所までは明示されない。
- e 製品の特徴はその製品の概要をわかりやすく説明することが目的であるため、必須記載である。

|   | a | b | c | d | e |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 誤 | 正 | 正 | 正 | 誤 |
| 2 | 正 | 正 | 正 | 正 | 正 |
| 3 | 正 | 正 | 誤 | 誤 | 誤 |
| 4 | 誤 | 誤 | 誤 | 正 | 誤 |
| 5 | 誤 | 正 | 正 | 誤 | 正 |

問45 添付文書に記載されている「使用上の注意」に関する次の記述のうち、最も正しい正誤の組み合わせを1つ選びなさい。

- a 医薬品の適正使用のために重要と考えられる項目が最後に記載されている。
- b 枠囲いまたは文字をゴシック体にするなど他の記載事項と比べて目立つように記載されている。
- c 「してはいけないこと」、「相談すること」及び「その他の注意」から構成されている。
- d 「使用上の注意」、「してはならないこと」及び「相談すること」の見出しには、それぞれ統一された標識的なマークが付されている。

|   | a | b | c | d |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 正 | 正 | 正 | 正 |
| 2 | 誤 | 正 | 正 | 正 |
| 3 | 正 | 正 | 誤 | 誤 |
| 4 | 誤 | 誤 | 誤 | 正 |
| 5 | 正 | 正 | 正 | 誤 |

問46 次の項目のうち、医薬品を適切に選択するための外箱の記載として、通常記載されていないものを1つ選びなさい。

- 1 効能・効果
- 2 医薬品の保管に関する事項
- 3 製剤の色と形
- 4 用法・用量

問47 次の使用期限の表示に関する記述のうち、誤っているものの組み合わせを1つ選びなさい。

- a 適切な保存条件で製造後3年を超えて性状及び品質が安定であることが確認されている医薬品については、使用期限の法的な表示義務はない。
- b 配置販売される医薬品には、配置期限として表示される。
- c 一度開封されたものの使用期限は、開封後1ヶ月である。
- d 「錠剤、カプセル剤、散剤等は、冷蔵庫に保管する」と必ず記載されている。

- 1 (a, b)    2 (a, c)    3 (b, c)    4 (b, d)    5 (c, d)

問48 緊急安全性情報に関する次の記述について、( )の中に入れるべき正しいものを1つ選びなさい。

医薬品又は医療機器について重要かつ緊急な情報伝達が必要な場合に、厚生労働省からの指示に基づいて、製造販売元の企業等からその医薬品又は医療機器を取り扱う医薬関係者に対して4週間以内に原則として直接配布し、情報伝達されるものである。A4サイズの黄色地の印刷物で、( )とも呼ばれる。

- 1 ドクターレター
- 2 ドラッグレター
- 3 イエローレター
- 4 インフォメーションレター

問49 次の医薬品・医療機器等安全性情報に関する記述のうち、誤っているものを1つ選びなさい。

- 1 厚生労働省では、一般用を含む医薬品、医療機器等による重要な副作用、不具合等に関する情報を「医薬品・医療機器等安全性情報」として、広く医薬関係者向けに情報提供を行っている。
- 2 「医薬品・医療機器等安全性情報」の内容は、医薬品の安全性に関する解説記事や、使用上の注意の改訂内容、主な対象品目、参考文献等が掲載されている。
- 3 医薬品・医療機器等安全性情報は、各都道府県、関係学会等への冊子の送付、その制度による報告を行った登録販売者等の医薬関係者及び健康被害を受けた購入者へ直接、ダイジェスト版がFAX送信される。
- 4 厚生労働省ホームページ及び独立行政法人医薬品医療機器総合機構の「医薬品医療機器情報提供ホームページ」へ掲載される。

問50 医薬品の安全性情報の提供、副作用情報の収集に関する記述のうち、正しいものの組み合わせを1つ選びなさい。

- a 独立行政法人医薬品医療機器総合機構では、一般用医薬品の添付文書情報を順次、掲載しており、添付文書の内容について事前に閲覧できる環境の整備が図られている。
- b 登録販売者は、製薬企業等が行う、医薬品の副作用などに関する情報収集に協力する必要はない。
- c 医師や薬剤師等の医薬関係者による副作用等の報告が義務化されているが、登録販売者は副作用報告を行う義務はない。
- d 緊急安全性情報は予期せぬ重大な副作用など、医薬品等について重要かつ緊急な情報伝達が必要な場所に、製造販売元の製薬企業等から医薬関係者に対して配布されるものである。

- 1 (a, b)    2 (a, c)    3 (a, d)    4 (b, d)    5 (c, d)

問51 次の医薬品による副作用の報告方法に関する記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 医薬品との因果関係がはっきりしない副作用症例に関しては、混乱を招く可能性があるため、報告してはならない。
- 2 安全対策上必要があると認められる場合は、医薬品の過量使用や誤用などによると思われる健康被害についても、報告する必要がある。
- 3 報告書の様式は特に決まっていないので、発生日時、原因医薬品名、症状、報告者の連絡先などを任意の様式によりファクスで報告すればよい。必要に応じて、厚生労働省から連絡がある。
- 4 報告書の提出は、個人情報保護の観点から、厚生労働省へ直接郵送する方法のみとなっている。

問52 医薬品・医療機器等安全性情報報告制度に関する次の記述のうち、誤っているものを1つ選びなさい。

- 1 WHO加盟国の一員としてわが国が対応した安全対策に係る制度の一つである。
- 2 1967年3月より、約3,000の医療機関をモニターに指定して、厚生省（当時）が直接副作用報告を受ける「医薬品副作用モニター制度」としてスタートした。
- 3 1997年7月に「医薬品等安全性情報報告制度」として拡充し、2002年7月には薬事法が改正され、医師や薬剤師等による報告が義務化され、副作用等に関する情報の収集体制がより一層強化された。
- 4 現在、当該制度は、薬事法に基づく報告義務ではないが、医薬関係者は協力するよう努めなければならない。

問53 一般用医薬品の承認後の使用成績に関する次の記述のうち、誤っているものを1つ選びなさい。

- 1 OTCとは、オーバー・ザ・カウンター（Over The Counter Drug）の略で医師の処方せんがなくても購入できる一般用医薬品のことをいう。薬局のカウンター越しにおかれていたことがことばの由来である。
- 2 新一般用医薬品のうちダイレクトOTCについては、10年を超えない範囲で厚生労働大臣が承認時に定める概ね8年間、承認後の使用成績等の報告が求められている（再審査制度）。
- 3 新一般用医薬品のうちスイッチOTCについては、承認条件として承認後の概ね3年間、安全性に関する使用成績の調査及び調査結果の報告が求められている。
- 4 すべての一般用医薬品については、承認条件として承認後の概ね5年、安全性に関する使用成績の調査及び調査結果の報告が求められている。

問54 次の副作用のケースで、医薬品副作用被害救済制度によって、救済給付の対象となるものを1つ選びなさい。

- 1 殺虫剤・殺菌消毒剤（人体に直接使用するものを除く）、精製水、ワセリン等で発生した副作用。
- 2 添付文書などに記載された用量の3倍量を服用したことにより発生した副作用。
- 3 一般用医薬品の総合感冒薬を添付文書どおりに使用して発生した、入院治療が必要な副作用。
- 4 海外で承認されているが、日本では未承認の医薬品を個人輸入し、添付文書どおりに使用して発生した入院治療が必要な副作用。
- 5 無承認無許可医薬品を服用したことにより発生した副作用。

問55 次の記述は医薬品副作用被害救済制度に基づく医療費の給付に関するものである。（ ）の中に入れるべき正しいものを1つ選びなさい。

医薬品の副作用による疾病の治療に伴う費用のうち、健康保険等による給付の額を差し引いた自己負担分を実費補償する給付を医療費という。本給付は支給の対象となる費用の支払いが行われたときから（ ）以内に請求がされる必要がある。

- 1 5年
- 2 3年
- 3 2年
- 4 1年

問56 次の医薬品副作用被害救済制度に関する記述で最も正しいものを1つ選びなさい。

- 1 医薬品の副作用のうち軽微な健康被害や医薬品の不適正な使用によるものも、すべてこの制度の対象となる。
- 2 薬局等で購入した医薬品による健康被害は、通常、この制度の対象となる。
- 3 医薬品の製造業者や販売業者などに損害賠償の責任が明らかの場合でも、すべてこの制度の対象となる。
- 4 救済給付業務に必要な費用はすべて国庫補助により賄われる。

問57 医薬品副作用被害救済制度の対象とならないケースのうち、製品不良など、製薬企業に損害賠償責任がある場合に推奨される最も適切な相談窓口を1つ選びなさい。

- 1 製造販売業者
- 2 保健所
- 3 医薬品PLセンター
- 4 独立行政法人医薬品医療機器総合機構
- 5 厚生労働省

問58 一般用医薬品に対して実施された安全対策に関する記述について、( )の中に入れるべき語句を1つ選びなさい。

かぜ薬のうち、( )剤は他の剤型に比べて吸収が速く、血中濃度が急速に高値に達するため通常用量でも副作用を生じやすいことが確認されたため、1965年、厚生省(当時)より関係製薬企業に対し、これらのかぜ薬製品の回収が要請された。その後、他の剤型の一般用かぜ薬についても、1970年に承認基準が制定され、成分・分量、効能・効果が見直された。

- 1 注 射
- 2 シロップ
- 3 アンプル
- 4 顆 粒

問59 一般用医薬品に対して実施された安全対策に関する次の記述について、( )の中に入れるべき語句を1つ選びなさい。なお、( )内には同じ語句が入る。

小柴胡湯による間質性肺炎については、1991年4月以降、使用上の注意に記載されていたが、その後、小柴胡湯と( )との併用例による間質性肺炎が報告されたことから、1994年1月、( )との併用を禁忌とする旨の使用上の注意の改訂がなされた。

- 1 フィブリノゲン製剤
- 2 イブプロフェン
- 3 アセトアミノフェン
- 4 インターフェロン製剤

問60 医薬品の適正使用のための啓発活動に関する次の記述のうち、誤っているものを1つ選びなさい。

- 1 医薬品の持つ特質及びその使用・取扱い等について正しい知識を広く生活者に浸透させることにより、保健衛生の維持向上に貢献することを目的として毎年「薬と健康の週間」が行われている。
- 2 薬物乱用防止を一層推進するため、国、自治体、関係団体等により、毎年「ダメ。ゼッタイ。」普及運動が実施されている。
- 3 登録販売者は、作用の穏やかな一般用医薬品を販売するので、適切なセルフメディケーションの普及啓発、医薬品の適正使用の推進のための啓発活動には関わる必要はない。
- 4 一般用医薬品でも薬物乱用又は薬物依存を生じる。